

◆アイデアの概要

<p>タイトル</p> <p style="text-align: center;">まんがでわかるごみ減量</p>
<p>内容</p> <p>ごみの減量を目指すために、正しいごみの分別を意識することと、ごみを出さないためにまだ利用できるものを最大限利用することを市民に促す。ごみの分別や3Rは種類も多くわかりづらい現状であるため、子供から大人までが楽しみながら理解できる4コマまんがにする。</p> <p>まんがは4コマまんがとして、読みやすくわかりやすくまとめる。情報社会に対応するため、SNSなどで、毎日など定期的に配信していく。この配信は市のホームページなどでリンクしたりする。また、市報や地域新聞と連携し掲載していく。ある程度内容が増えたら、冊子などにして、教育機関や地域に配布するなどし、市民がいつでも見ることができる環境にしていく。</p>
<p>期待されるごみ減量効果</p> <p>市民がまんがを読み、正しい分別やごみの減量への意識が高まることが期待できる。ごみの減量は面倒なことも多いが、まんがを利用し、楽しみながら取り組むことで活動しやすくなる。</p> <p>1日100g減量は、ちょっとした意識で実現可能と考えている。そのちょっとした意識付けに、まんがを利用することで、効果は期待できる。</p>

【まんがでわかるごみ減量】

目的

ごみの減量を目指すために、正しいごみの分別を意識することと、ごみを出さないためにまだ利用できるものを最大限利用することを市民に促す。ごみの分別や3Rは種類も多くわかりづらい現状であるため、子供から大人までが楽しみながら理解できる4コマまんがにする。

波及性や取り組みやすさ

まんがは4コマまんがとして、読みやすくわかりやすくまとめる。情報社会に対応するため、SNSなどで、毎日など定期的に配信していく。この配信は市のホームページなどでリンクしたりする。また、市報や地域新聞と連携し掲載していく。ある程度内容が増えたら、冊子などにして、教育機関や地域に配布するなどし、市民がいつでも見ることができる環境にしていく。

アイデア例

- ①市が案内しているごみの分別や3R活動などを調査し、学生（本校ではまんがなどを得意とする科があるので、授業などで取り組む）がオリジナルの4コマまんがを描く。
- ②地域の小学校や中学校などにも協力してもらい、まんがのできる児童や生徒から、4コマまんがを募集する。
（ごみ問題について学ぶ場ができる）
- ③SNSやホームページを開設し、4コマまんがを定期的に配信する。
- ④市報や地域新聞社と連携し、紙面にも4コマまんがを掲載する。
- ⑤4コマまんがの内容は、ごみの分別や減量方法、3Rなどや、食品ロス、エシカル消費、などどうすればごみを減らすことができるかを考えた内容にしていく。
- ⑥最終的には、冊子（本）にして、学校や地域団体などに配布し、だれもが閲覧できるようにする。



港区より引用

効果

私たち高校生や、子供たちが慣れ親しんでいる「まんが」でごみの減量について面白おかしく4コマで表現するために、学ぶ機会も増える。そこでごみに対する意識が生まれる。また、まんがは読みやすいので、大人でも気軽に見ることが可能で、ちょっとしたアイデアなども掲載すれば、気づきにもつながる。情報化社会に対応し、SNSやホームページなどにも定期的に配信し、いつでもどこでも楽しめる環境整備をすることで、多世代が利用可能。市報や新聞などにも掲載し、アナログ世代にも周知できる。

意識が変わり、知識がつけば、ごみ減量に市民が一丸となって取り組むことが可能となる。

1日100g減量の目標は、意識すれば簡単に達成できるはずである。